令和６年１月２７日土曜日に、那覇市松山の「平家亭」で開催された２期生新年会の集合写真です。
コロナ渦にて３年ぶりの開催ということで県外からも６名の参加者を迎え、盛会のうちに開催されました。
私の今回の新年会の第一印象は「なんか知らん奴がおる。だれだこいつ？」でした。
最前列右端、長髪、髭の仙人みたいな男性、誰かわかりますか？（笑）

翌日、１月２８日に本部町で撮影した
琉球緋寒桜です。
寒いながらも春はもうそこまで来ています
。

１月２８日、日曜日の夕刻に医学部キャンパスに行って見ました。
基礎講義実習棟です。

基礎講義
実習棟

なんか天井が落ちたみたいです。

臨床実習講義棟側から見たがじゅまる。
一段と成長し「この木なんの木」のようです。

医学部キャンパス、病院は令和７年４月に
移転が決まったと聞いています。
もうそんな時期か？と思っていましたが
実際見てみると予想以上に老朽化が進んで
います。
沖縄の台風と塩害のせいか、特にアルミの
腐食が目立ちます。
臨床研究棟の回廊天井はパネルが脱落
しかけています。

サッシも含め、アルミの白錆がひどい！

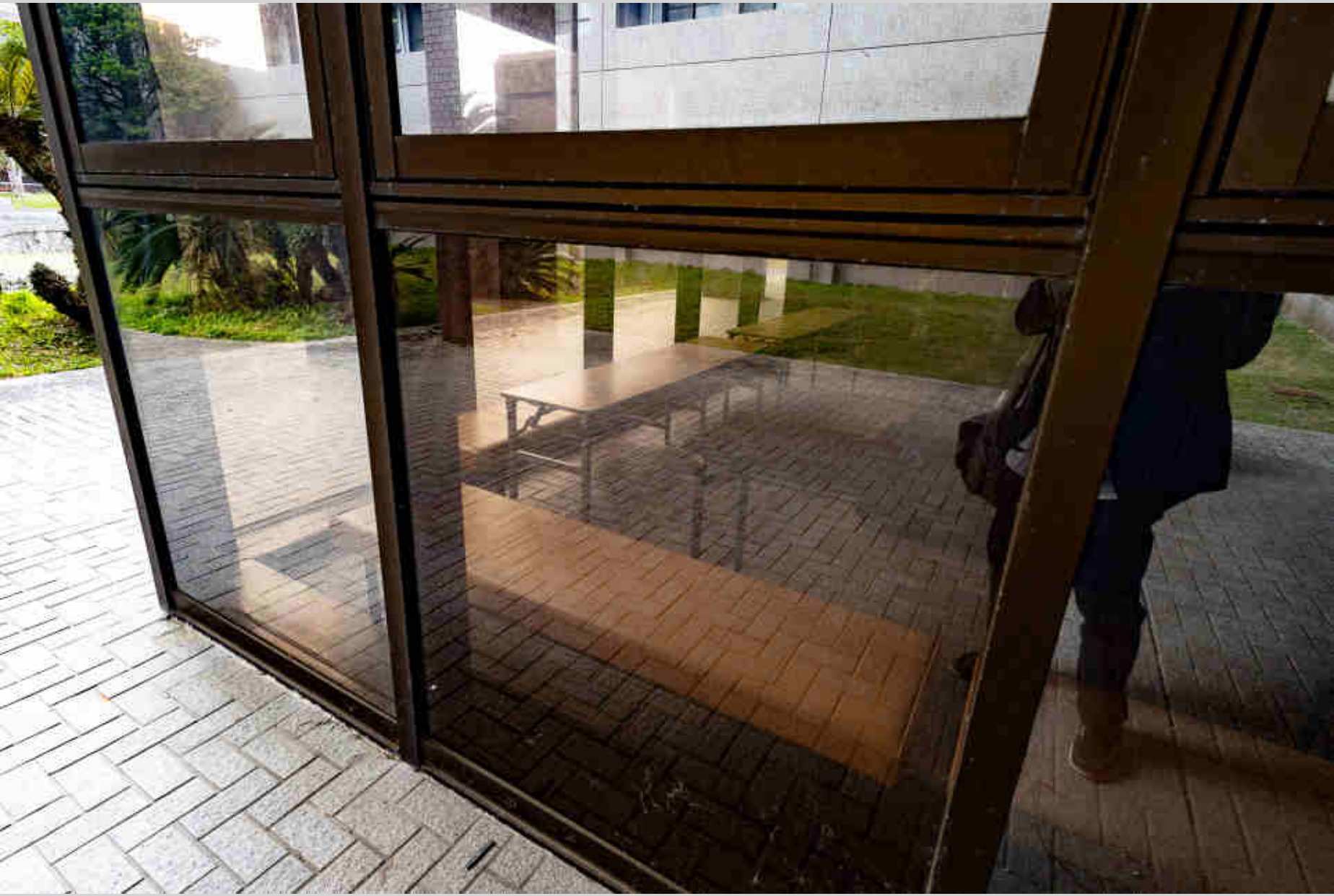
基礎講義実習棟からの中庭の様子です。

より広角で撮影。
中庭の芝（草？）って、こんなに
長かったっけ？

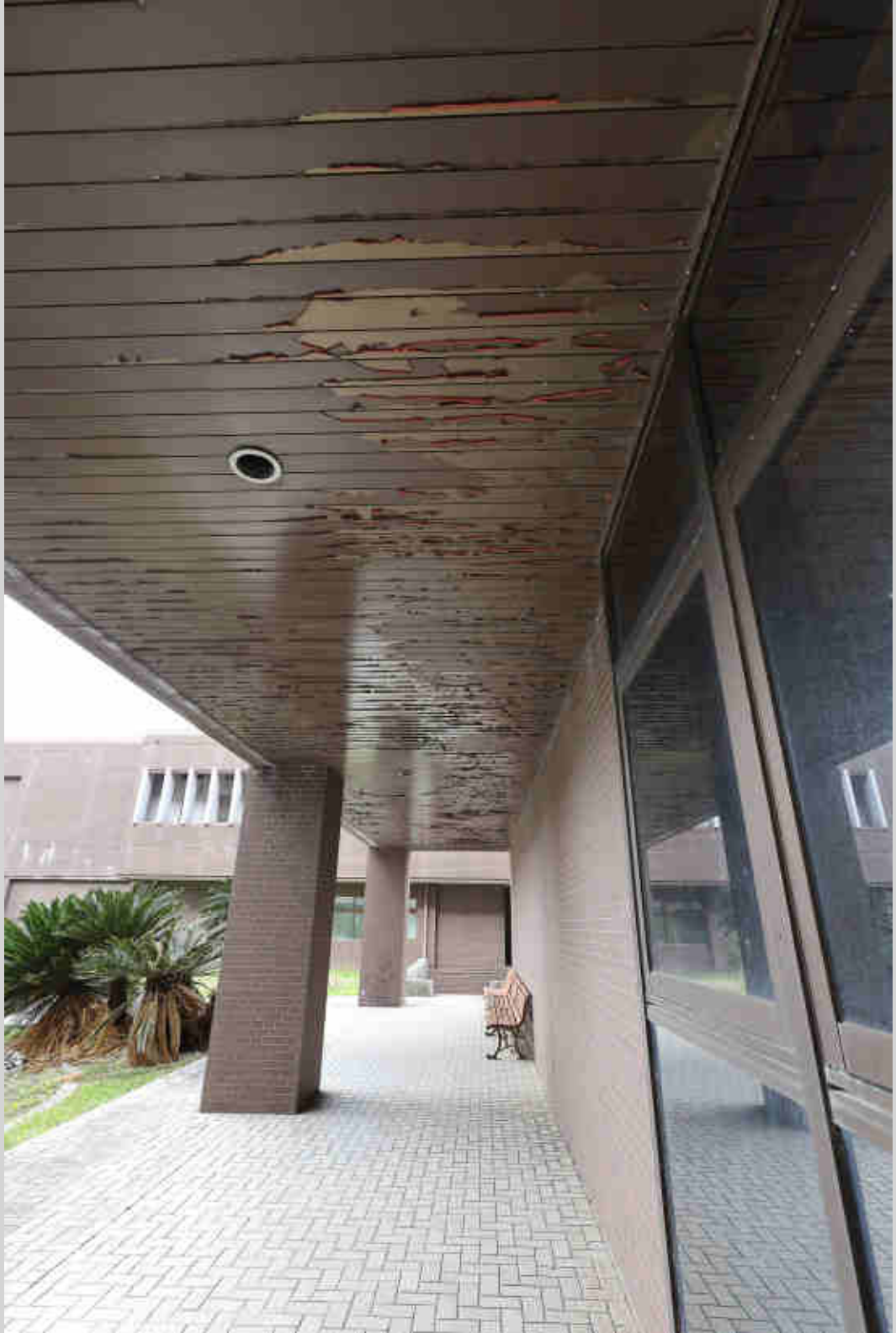
臨床講義棟です。外壁に亀裂が.....

医学科
臨床講義棟

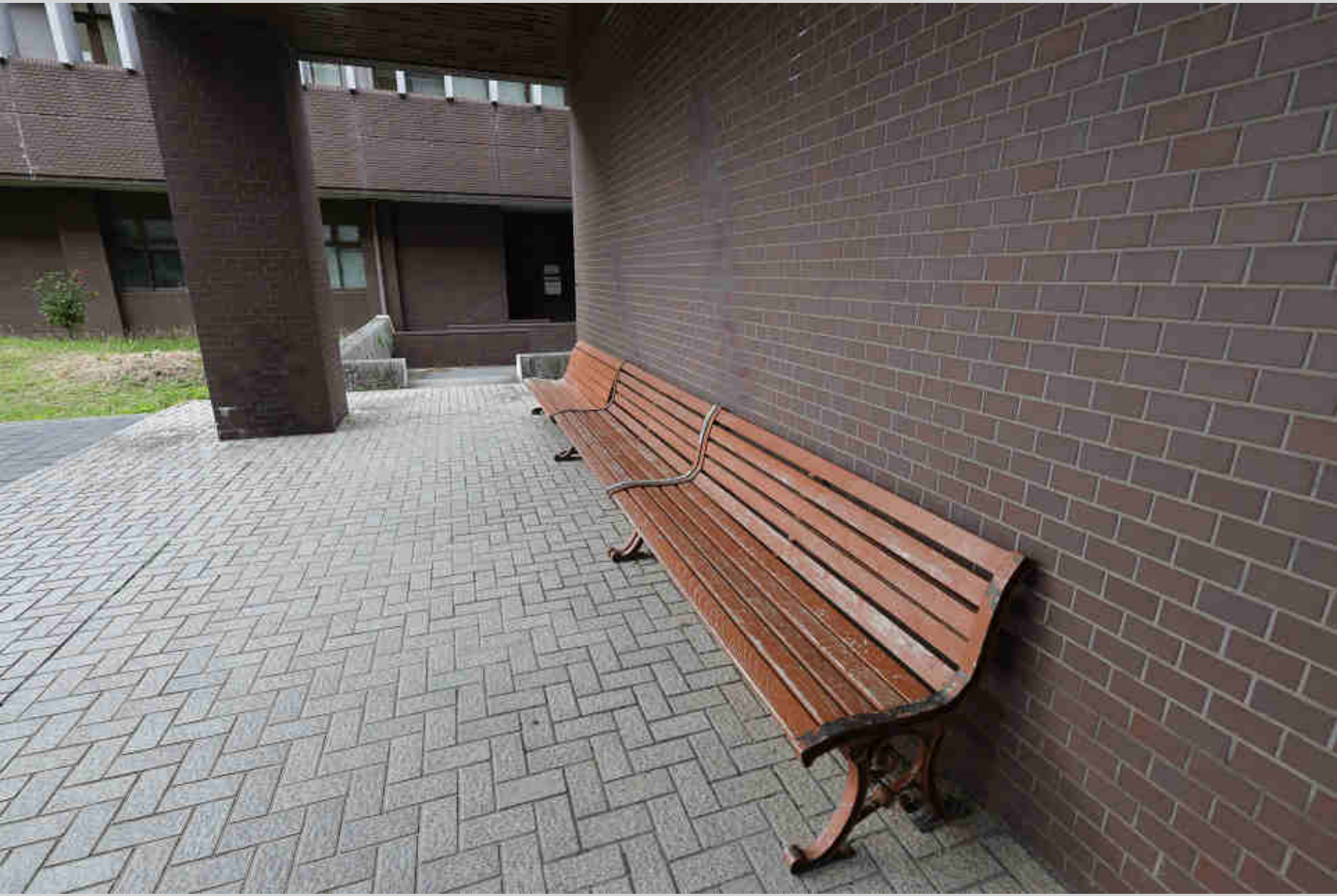
銘板も年季が入っています。



このピロティーの長椅子。私たちの時代にもあったような気が……。
いつも誰かが寝そべっていたような記憶があります。



臨床講義棟もやはり老朽化が目立ちます。



懐かしいですね。このベンチ。
ここに座って「徳田君のノートのコピーはまだか？」とか他人の褌で相撲をとるような話ばかりしていたような記憶が.....
ちなみにコピーをとりまくった
「峠の茶屋」は今は、どこにあったのかも特定できませんでした。

北側から見たガジュマルです。
本当に立派です。
私たちもこの木のように、成長したのですかね……
ただ枯れてきただけだったらどうしよう…

この木は、これからもずっと残してほしいものです。

ガジュマル会館側から、基礎講義実習棟を望みます。

がじゅまる会館

がじゅまる会館１階の売店前より基礎講義実習棟を望みます。
この通路を、みんな何百回か、何千回か通りましたね。
あれから４０年の月日が立ちましたが、キャンパスは意外なほど、あの頃のままでした。今回の訪問中、ただの一人も人影は見えず。あのころにタイムスリップしたような不思議な気持ちになりました。

令和６年２月１日　２期生　木村勝則